

# 地域向けアンケート調査 報告書

## ■調査の目的

地域の子ども・子育て支援活動の状況、子どもの居場所づくりに関する状況やニーズを把握し、今後の子どもの居場所づくりの支援策を検討する際の参考とする。

## ■調査概要

調査対象：主任児童委員 193名

回収数：141サンプル（回収率73.1%）

調査方法：直接配布（各地区民生委員児童委員協議会地区会長を通じて配布）、  
郵送回収

調査期間：平成29年12月7日～平成30年1月22日

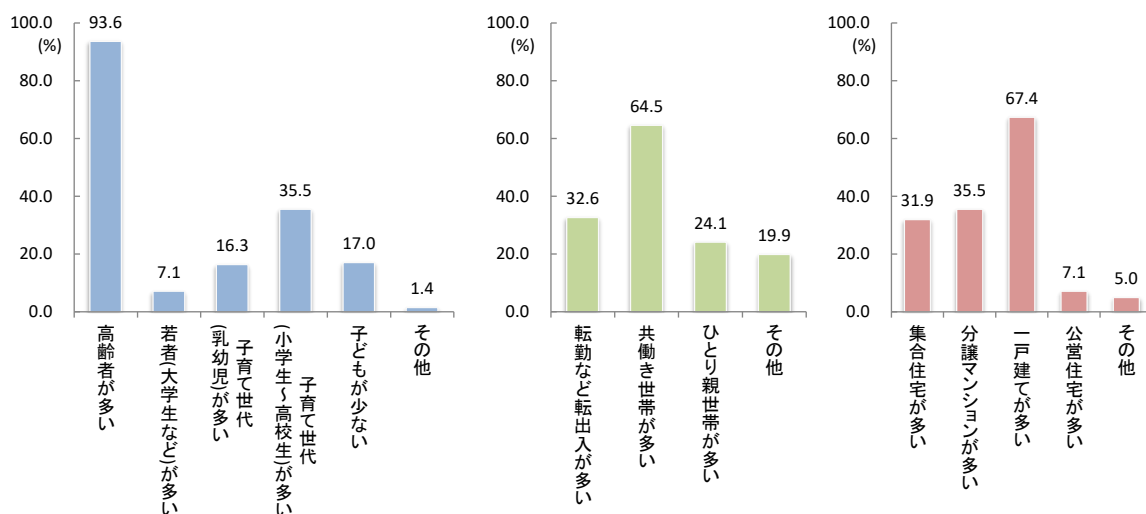
## ■調査結果

※単数回答はSA、複数回答はMAと表記する。

### 1 地域の子どもや子育て支援活動の状況

#### ●問1 地域特性

年代の状況としては9割以上が「高齢者が多い」と感じている。世帯の状況では「共働きが多い」、住まいの状況は「一戸建てが多い」の回答率が高く、いずれも6割以上となっている。



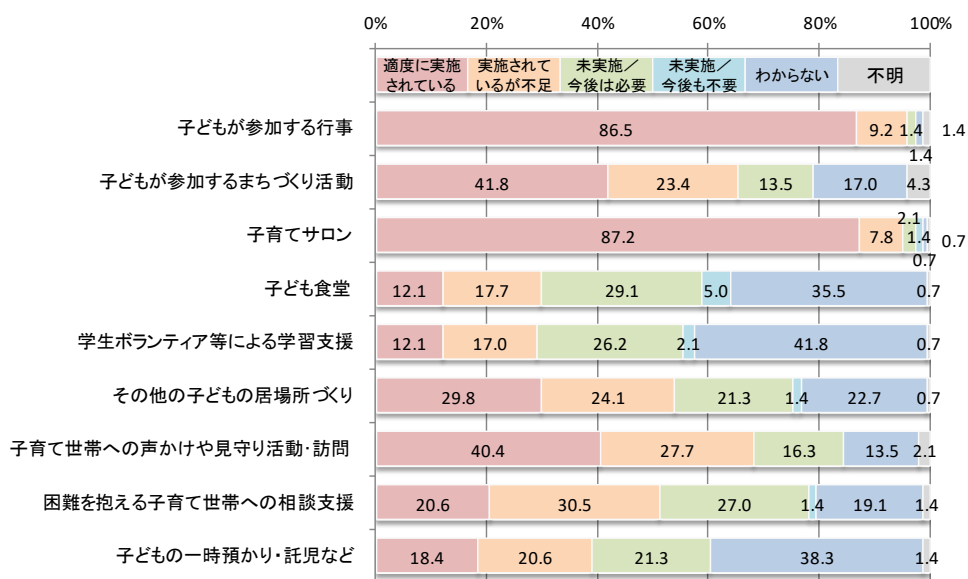
問1-1 年代の状況[MA] (N=141) / 問1-2 世帯の状況[MA] (N=141) / 問1-3 住まいの状況[MA] (N=141)

●問2 地域の子ども・子育て支援活動の状況

「適度に実施されている」の割合は、“子どもが参加する行事”“子育てサロン”で8割を超えており、充足度が高いといえる。

「実施されているが不足」「未実施／今後は必要」の割合は、“困難を抱える子育て世帯への相談支援”で合わせて57.5%と他に比べ高く、必要性を感じている人が多いことがうかがえる。

「わからない」の割合は“子ども食堂”“学習支援”“子どもの一時預かり・託児など”で3～4割と他に比べ高く、活動の情報不足がうかがえた。



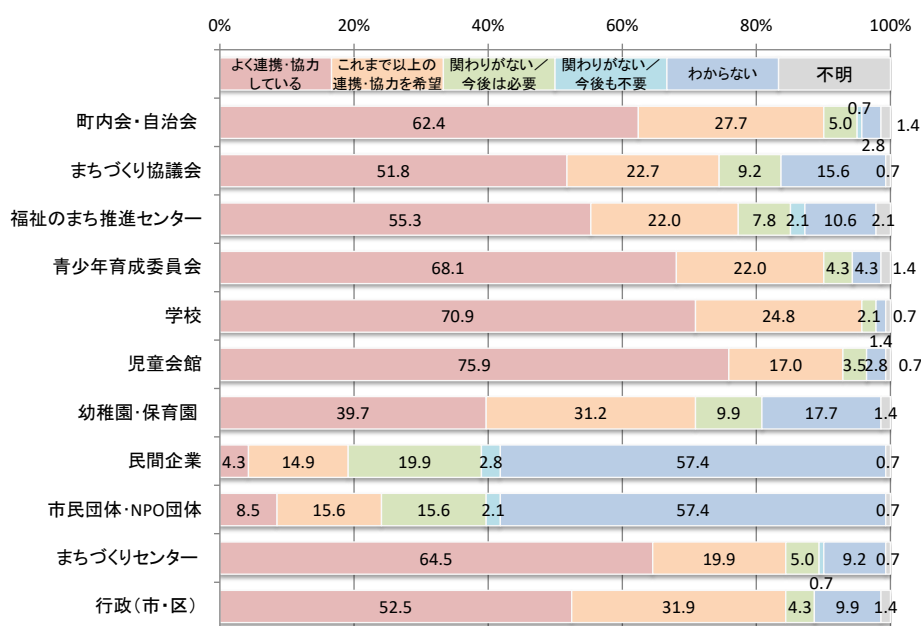
問2 地域の子ども・子育て支援活動の状況 [SA] (N=141)

●問3 地域の子ども・子育て支援活動における各団体の連携・協力状況

「よく連携・協力している」の割合は、“幼稚園・保育園”、“民間企業”、“市民団体・NPO 団体”を除く全ての項目で5割を超えており、特に“学校”、“児童会館”では7割以上と高くなっている。

「これまで以上の連携・協力を希望」「関わりがない／今後は必要」を合わせた割合を見ると、いずれの項目でも2割以上が現状以上の連携・協力を必要と考えており、特に“幼稚園・保育園”では4割と高くなっている。

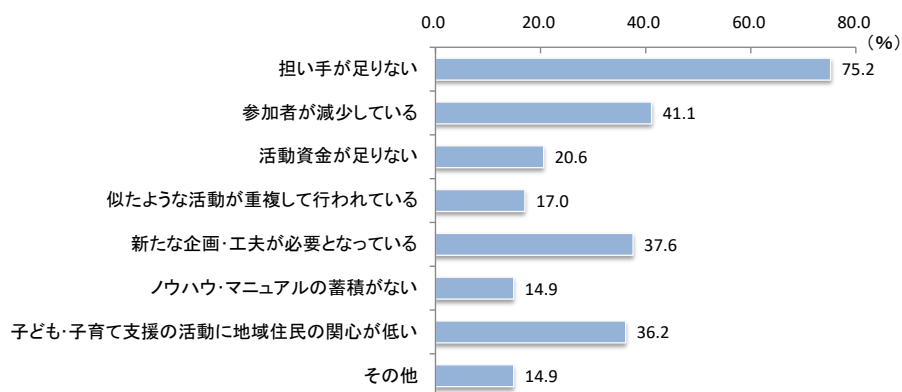
「わからない」の割合は“民間企業”、“市民団体・NPO 団体”で約6割と高かった。



問3 地域の子ども・子育て支援活動における各団体の連携・協力状況[SA] (N=141)

●問4 地域の子ども・子育て支援活動における課題

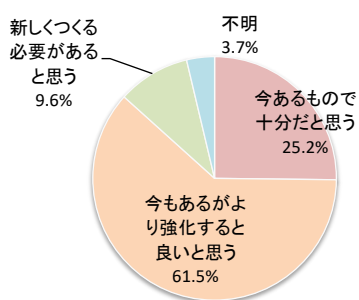
「担い手が足りない」の回答率が最も高く75.2%、次いで「参加者が減少している(41.1%)」、「新たな企画・工夫が必要となっている(37.6%)」、「子ども・子育て支援の活動に地域住民の関心が低い(36.2%)」の順となっており、人材に関する課題への関心が高いことがうかがえた。



問4 地域の子ども・子育て支援活動における課題[MA] (N=141)

●問5 地域の子ども・子育て支援活動におけるネットワークの必要性

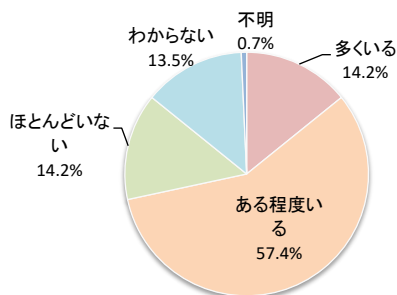
95.7%が「必要である」と回答した。「必要である」と答えた回答者のうち、「今もあるがより強化すると良いと思う」の割合が最も高く61.5%、次いで「今あるもので十分だと思う(25.2%)」、「新しくつくる必要があると思う(9.6%)」の順となっており、強化・新規によるネットワークづくりの必要性を感じている人が約7割を占めている。



問5 地域の子ども・子育て支援活動におけるネットワークの必要性[SA] (n=135)

●問6 地域内の支援必要世帯の状況

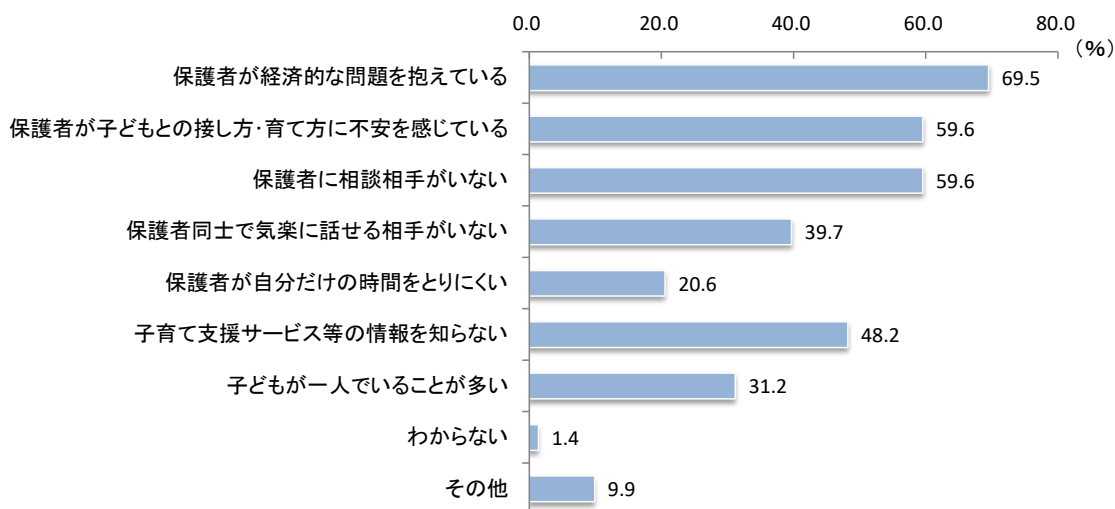
「ある程度いる」の割合が最も高く 57.4%、次いで「ほとんどいない」・「多くいる」がともに 14.2%、「わからない (13.5%)」の順となっており、支援の必要な世帯が「いる」と感じている人の割合は 7 割を占めている。



問6 地域内の支援必要世帯の状況 [SA] (N=141)

●問7 子どもや子育て世帯が抱える困難

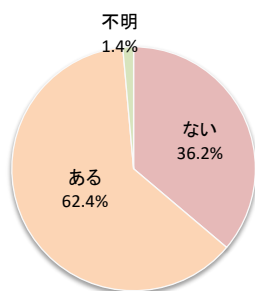
「保護者が経済的な問題を抱えている」の回答率が最も高く 69.5%、次いで「保護者が子どもとの接し方・育て方に不安を感じている」・「保護者に相談相手がない」がともに 59.6%、「子育て支援サービス等の情報を知らない (48.2%)」の順となっている。



問7 子どもや子育て世帯が抱える困難 [MA] (N=141)

●問8 子どもや子育て世帯の困難を見聞き・対応した経験の有無

「ある」の割合が62.4%で、多くの人が子どもや子育て世帯の困難を感じている。見聞き・相談を受けた内容としては、「育児放棄や養育困難」、「子育ての不安や悩み」、「経済的困難」に関する記述が多くみられた。



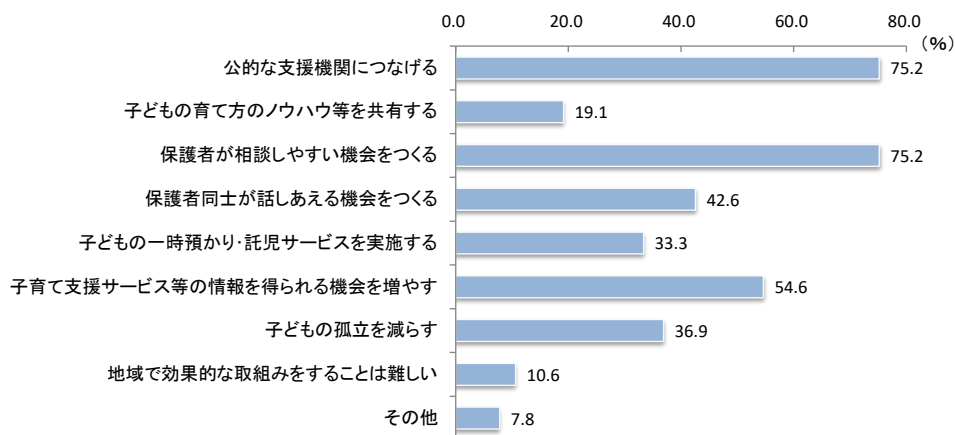
問8 子どもや子育て世帯の困難を見聞き・対応した経験の有無[SA] (N=141)

表 問8 見聞き・対応した困難の内容 (n=88)

項目		件数
見聞き又は相談を受けた困難	育児放棄、養育困難	21
	子育てに対する不安・悩み	17
	経済的問題	15
	不登校	15
	母親の孤立	12
対応策	関係機関との相談・連携	20
	見守り・訪問	12

●問9 子ども・子育て世帯を支援のために効果的と思われる地域活動

「公的な支援機関につなげる」「保護者が相談しやすい機会をつくる」の回答率がともに75.2%で最も高く、次いで「子育て支援サービス等の情報を得られる機会を増やす(54.6%)」、「保護者が話しあえる機会をつくる(42.6%)」の順となっている。



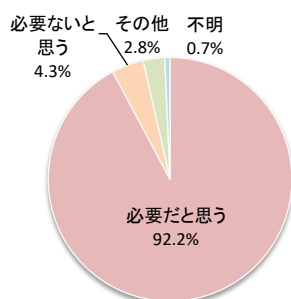
問9 子ども・子育て世帯を支援のために効果的と思われる地域活動[MA] (N=141)

## 2 子ども食堂など地域の子どもの居場所づくりについて

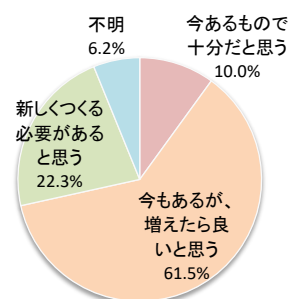
### ●問 10 地域の子どもの居場所づくりの必要性、充足状況

地域の子どもの居場所づくりの必要性は、「必要だと思う」が9割と大半の人が必要性を感じている。

必要だと思う人へ現状の充足状況を訊くと、「今もあるが増えたら良いと思う」の割合が61.5%で最も高く、次いで「新しくつくる必要があると思う（22.3%）」、「今あるもので十分だと思う（10.0%）」の順となっており、8割以上が居場所の増加を望んでいることがわかる。



問 10 地域の子どもの居場所づくりの必要性[SA] (N=141)

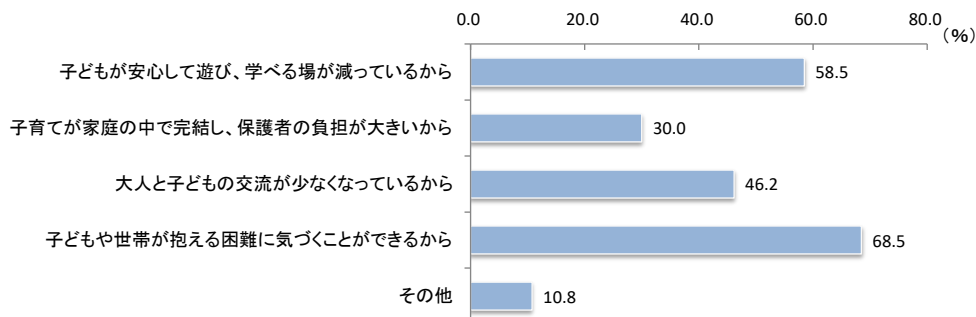


問 10' (必要だと思う場合) 充足状況[SA] (n=130)

〔子どもの居場所づくりが「必要だと思う」場合〕

### ●問 10-1 居場所があったほうがよいと思う理由

「子どもや世帯が抱える困難に気づくことができるから」の回答率が68.5%と最も高く、次いで「子どもが安心して遊び、学べる場が減っているから（58.5%）」、「大人と子どもの交流が少なくなっているから（46.2%）」の順となっている。

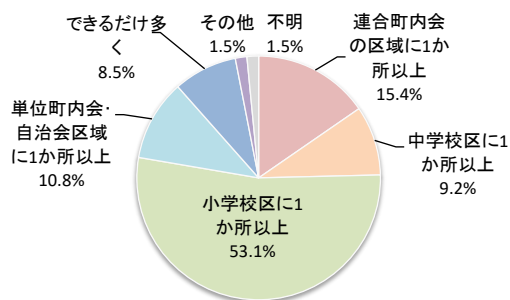


問 10-1 居場所があったほうがよいと思う理由[MA] (n=130)

〔子どもの居場所づくりが「必要だと思う」場合〕

●問 10-2 望ましい居場所の地域単位

「小学校区に1か所以上」の割合が53.1%と過半数を占める。次いで「連合町内会の区域に1か所以上（15.4%）」、「単位町内会・自治会区域に1か所以上（10.8%）」の順となっており、「できるだけ多く」も8.5%あった。



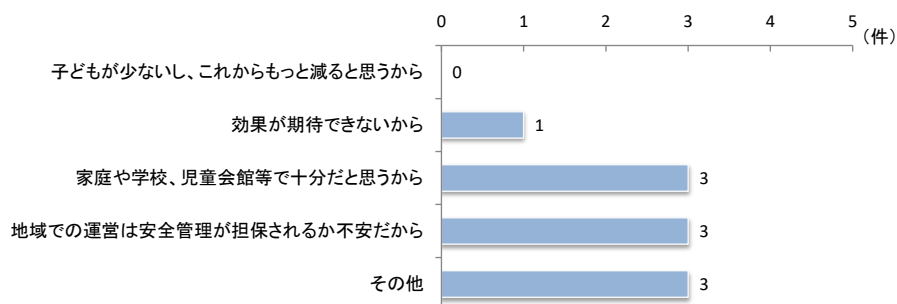
問 10-2 望ましい居場所の地域単位 [SA] (n=130)

〔子どもの居場所づくりが「必要ないと思う」場合〕

●問 10-3 必要がないと思う理由

「家庭や学校、児童会館等で十分だと思うから」、「地域での運営は安全管理が担保されるか不安だから」が3件、「効果が期待できないから」が1件だった。

「その他」の意見としては、『地域の担い手不足』『特に子ども食堂は地域によって性格が異なるので慎重に検討すべき』『基本的にはボランティアも含め家庭で夕食を取るべきでは』との記述があった。

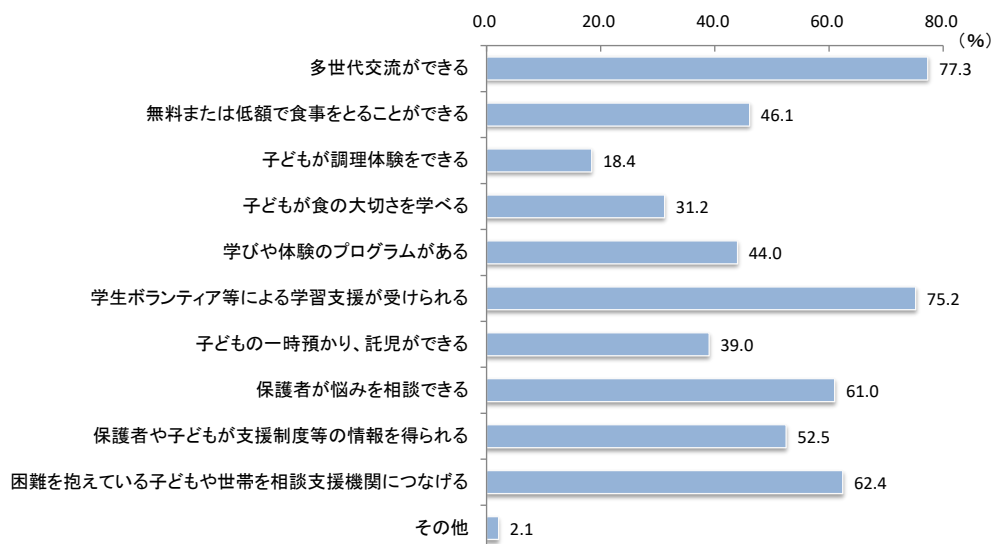


問 10-3 必要がないと思う理由 [MA] (n=6)



●問 11 地域の子どもの居場所づくりに係る望ましい取組み

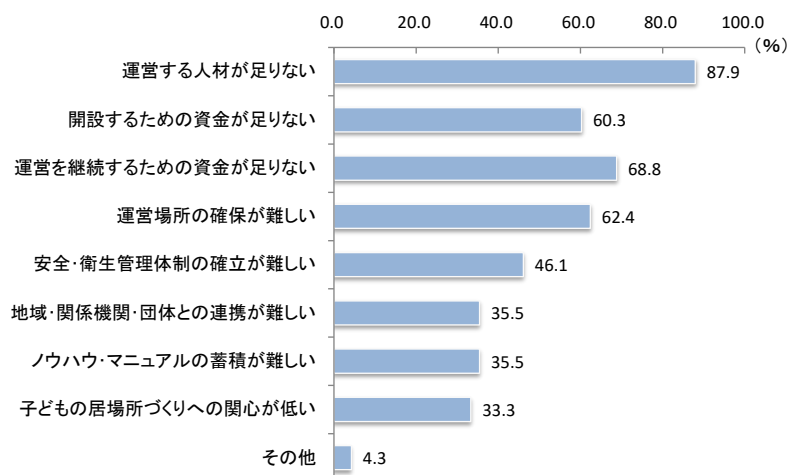
「多世代交流ができる」の回答率が 77.3%と最も高く、次いで「学習ボランティアによる学習支援が受けられる (75.2%)」、「困難を抱えている子どもや世帯を相談支援機関につなげる (62.4%)」、「保護者が悩みを相談できる (61.0%)」の順となっている。



問 11 地域の子どもの居場所づくりに係る望ましい取組み [MA] (N=141)

●問 12 居場所づくりを始める際に予想される課題

「運営する人材が足りない」の回答率が 87.9%と最も高く、次いで「運営を継続するための資金が足りない (68.8%)」、「運営場所の確保が難しい (62.4%)」、「開設するための資金が足りない (60.3%)」、「安全・衛生管理体制の確立が難しい (46.1%)」、「地域・関係機関・団体との連携が難しい (35.5%)」、「ノウハウ・マニュアルの蓄積が難しい (35.5%)」、「子どもの居場所づくりへの関心が低い (33.3%)」などの順となっている。

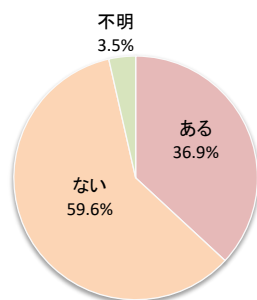


問 12 居場所づくりを始める際に予想される課題 [MA] (N=141)

### 3 地域にある、子ども食堂など地域の子どもの居場所について

● 問 13 担当地域にある子どもの居場所の有無

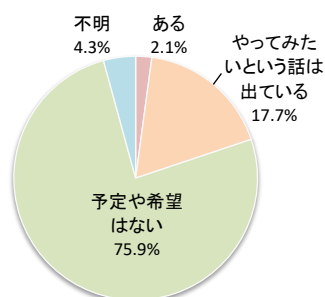
おおよそ 6 : 4 で「ない」の回答が多かった。



問 13 担当地域にある子どもの居場所の有無 [SA] (N=141)

● 問 14 地域内で新たな子どもの居場所づくりの予定・希望

「予定や希望はない」の割合が 75.9%と全体のおおよそ 3/4 を占める。次いで「やってみたいという話はある (17.7%)」、「(予定が) ある (2.1%)」となっている。



問 14 地域内で新たな子どもの居場所づくりの予定・希望 [SA] (N=141)